

2024年度第2回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 木曾川特別

木曾川（きそがわ）は、長野県中西部の鉢盛山に源を発し、飛騨川と合流して伊勢湾に注ぐ延長229kmの川。下流には、水害から集落を守るため周囲を堤防で囲んだ「輪中（わじゅう）」と呼ばれる地域が広がる。長良川、揖斐川とともに木曾三川と呼ばれている。

○ 日進特別

日進（にっしん）は、名古屋市と豊田市に隣接した愛知県中央部の市。市の中心部を天白川が東西に流れ、その流域の平地には農耕地が広がる。現在は都市部への交通利便性が良いことから宅地化が進むとともに、多くの大学が立地する学園都市として発展を続けている。

○ 関ヶ原ステークス

関ヶ原（せきがはら）は、伊吹、鈴鹿両山地に挟まれた、岐阜県南西端に位置する小盆地で、岐阜県不破郡の町名。古来より交通の要衝で、越前の愛発（あらち）、伊勢の鈴鹿とともに京を守る古代三関のひとつである不破の関所が置かれた。また、中山道・北国街道・伊勢街道の分岐点にあたり、宿駅が置かれた。1600年に、天下分け目の戦いと称される「関ヶ原の戦い」が繰り広げられた場所として有名。

<第2日>

○ 鞍ヶ池特別

鞍ヶ池（くらがいけ）は、愛知県豊田市にある池。江戸時代に農業用のため池として作られた。現在、池の周辺は鞍ヶ池公園として整備されており、園内には動物園、植物園やキャンプ場など多くの施設がある。

○ 三河ステークス

三河（みかわ）は、旧国名のひとつで、現在の愛知県東部にあたる。平安時代の律令施行細則である「延喜式」によれば、三河は上から二番目にあたる「上国」であったという。1872年には、尾張を併せて愛知県となった。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。本年は、中京競馬場において芝2000mで実施される。当初は2000mのハンデキャップ戦であったが、1995年に別定重量戦へ変更された。2000年から再びハンデキャップ戦となり、現在に至る。

○ 知多特別

知多（ちた）は、愛知県南西部の半島、また同半島北西部の市。沿岸部の工業地帯には発電所や製油所などがあり、内陸部では稲作、園芸などの農業、沿岸部では漁業が盛ん。なお、尾張東部から知多半島へ農業・工業・水道用水を送っている愛知用水が地域の発展を支えている。西岸部の常滑市には、2005年に中部国際空港（セントレア）が開港し、中部地方の空の玄関口となっている。

<第3日>

○ 御在所特別

御在所（ございしょ）は、三重県と滋賀県の県境に位置する鈴鹿山脈の主峰をなす、標高1,212mの山。鈴鹿国立公園に属し、山頂に通じる大規模なロープウェイや展望台が設けられている。

○ 四日市特別

四日市（よっかいち）は、三重県北部の市。地名は、毎月4のつく日に市が開かれたことに由来する。江戸時代は、伊勢国北部の行政、商業の中心地として、幕末から明治にかけては、菜種油や肥料の生産や取引の盛んな町として栄えた。その後は、繊維工業・機械工業・化学工業の進出が相次ぎ、中京工業地帯の代表的な工業都市となった。

○ 豊明ステークス

豊明（とよあけ）は、愛知県中部の市。その名は、酒造業を営んでいた伊藤家の屋号「豊倉屋」の「豊」と、当時の元号「明治」の「明」に由来しているとする説もある。隣接する名古屋市緑区にかけて、桶狭間の古戦場跡があることで有名。

なお、同市は中京競馬場の所在地でもある。

<第4日>

○ 濃尾特別

濃尾（のうび）は、岐阜県と愛知県にまたがる沖積平野。かつての美濃国と尾張国にまたがって広がっていたことから、その名がつけられた。古くは京都から東へ物資を運ぶ際の中継地として栄え、現在では中京工業地帯の中心として名古屋市を中核に商工業が発達している。

○ 中京スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社から発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの通称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ サマースプリントシリーズCBC賞（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第4戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。第1回は砂1800mの競走として実施されたが、幾度かの変更を経て、1981年に現行の芝1200mとなった。その後も短距離競走路線の改善に伴い、実施時期や競走条件が変更され、現在はGⅢのハンデキャップ戦として実施されている。

CBCテレビは、名古屋市中区に本社を置く放送局でJNN（TBS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 小倉サマージャンプ（J・GⅢ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。本年は、中京競馬場において芝3300mで実施される。直線には坂の途中と上に2基の障害が設置され、最後の直線の攻防を間近で観戦することができる。

○ 揖斐川特別

揖斐川（いびがわ）は、岐阜県と福井県の県境にそびえる冠山に源を發し、岐阜県と三重県を流れる木曽川水系の河川。途中で木曽川、長良川と平行して流れ、河口附近の三重県桑名市で長良川と合流し、伊勢湾に注いでいる。

○ 清洲特別

清洲（きよす）は、愛知県西部、清須市の町。戦国大名・織田氏勃興の地であり、清洲城は織田信長が居城としたことで知られている。現在は、名古屋市のベッドタウンとなっている。

○ 瀬戸ステークス

瀬戸（せと）は、愛知県北部の市。良質の陶土を産し、日本有数の陶磁器の産地として有名。陶磁器の代名詞である「せともの」の由来となっている。

<第6日>

○ 大府特別

大府（おおぶ）は、名古屋市の南部に隣接する市。愛知用水を利用した農業が盛んで、巨峰やシャインマスカットなどぶどうの産地として有名。また、スポーツのまちとして地域スポーツに力を入れている。

○ 長久手特別

長久手（ながくて）は、愛知県北西部の市。名古屋市に隣接しており、徳川家康と豊臣秀吉が戦った「小牧・長久手の戦い」の古戦場跡がある。2005年に開催された愛知万博の跡地には「愛・地球博記念公園（モリコロパーク）」が建設され、2022年には園内に「ジブリパーク」がオープンした。

○ 名鉄杯

名鉄（めいてつ）は、名古屋市中村区に本社を置く名古屋鉄道株式会社の略称。名古屋市を中心として愛知、岐阜両県にまたがる路線を持ち、沿線には中京競馬場の最寄り駅である中京競馬場前駅がある。同競馬場のスタンド東側には名鉄の元特急電車 7000 系パノラマカーを保存展示した「パノラマステーション」が設置されている。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 香嵐渓特別

香嵐渓（こうらんけい）は、愛知県豊田市にある渓谷。江戸時代初期の寛永年間（1624年～1644年）に、香積寺の住職である三栄和尚が植えたとされる約 4 千本のカエデがある。清流と紅葉の名所であり、多くの観光客が訪れる。

○ 鳥羽特別

鳥羽（とば）は、三重県東部、志摩半島北東端の市。伊勢湾口に臨む鳥羽港を中心に市街地が発達している。古くは九鬼水軍の本拠地で、その後は江戸―大阪間の帆船寄港地として栄えた。現在は真珠やカキの養殖業が盛ん。

○ 長篠ステークス

長篠（ながしの）は、愛知県新城市の地名。1575年に織田信長と徳川家康の連合軍が、武田勝頼と戦った「長篠の戦い」の古戦場として知られている。

<第8日>

○ 有松特別

有松（ありまつ）は、名古屋市緑区の地名。同地の名産品の有松・鳴海絞は、東海道を往来する旅客の土産品として珍重され、1975年には県下第 1 号の伝統的工芸品に指定されている。

○ 桶狭間ステークス

桶狭間（おけはざま）は、愛知県豊明市と名古屋市にまたがる地域にある古戦場。1560年、10倍以上の兵力で尾張に攻め入った今川義元を、織田信長が破った地として知られている。

○ 小倉2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、1981年に創設された重賞競走。本年は、中京競馬場において芝1200mで実施される。2000年までは『小倉3歳ステークス』として実施されていたが、2001年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。